

# きずなの郷

第19号  
2006 冬

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成18年1月25日

わかふじ寮旧作業棟解体工事、  
軽作業棟周辺舗装工事、  
やすらぎ荘屋根改修工事、  
環境整備  
わかふじ寮旧作業棟  
解体工事…………… 1  
障害者自立支援法… 2  
施設だより  
わかふじ寮…………… 4  
やすらぎ荘…………… 6  
新得やすらぎ荘… 7  
屈足わかふじ園… 9  
おしらせ…………… 11  
ご寄附・ご寄贈芳名… 12  
局番変更…………… 12  
編集後記…………… 12

聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ  
やすらぎ荘屋根改修工事

## やすらぎ荘屋根改修工事



を掛けておりましたが、解体工事に  
合わせて舗装工事を行いました。



昭和五十六年に開所したやすらぎ荘ですが、築二十四年を経過し、屋根板金の老朽化による雨漏りが多く、利用者の方々に不便を掛けていましたが、今回の改修工事により今後は快適にお過ごし頂けると思います。

なお、総工事費は一〇、一八五、〇〇〇円で、競輪・オートレース売上金の有効活用のため設けられる「車両競技公益資金記念財団」の助成金五、〇九〇、〇〇〇円を主財源に、残りを自己資金及び2名の方のご寄付で行いました。

わかふじ寮旧作業棟の解体工事が、  
十月中旬から十一月末日まで行なわれました。

この建物は、昭和三十三年に建築された後、順次増築された建物で、主に木工クラフト製品、注文家具製作などで使用されてきましたが、平成十六年十二月に新作業棟の増築にあわせ、使用されなくなったため、解体されることになりました。

同時に、旧新得中学校校舎を倉庫として使用していた建物も、解体されることになりました。

今後は、跡地を利用した公園緑化整備などの事業を進めていく予定です。

また、昨年十二月に整備した軽作業棟についても、周辺が未整備だつたため、目の見えない利用者に不便



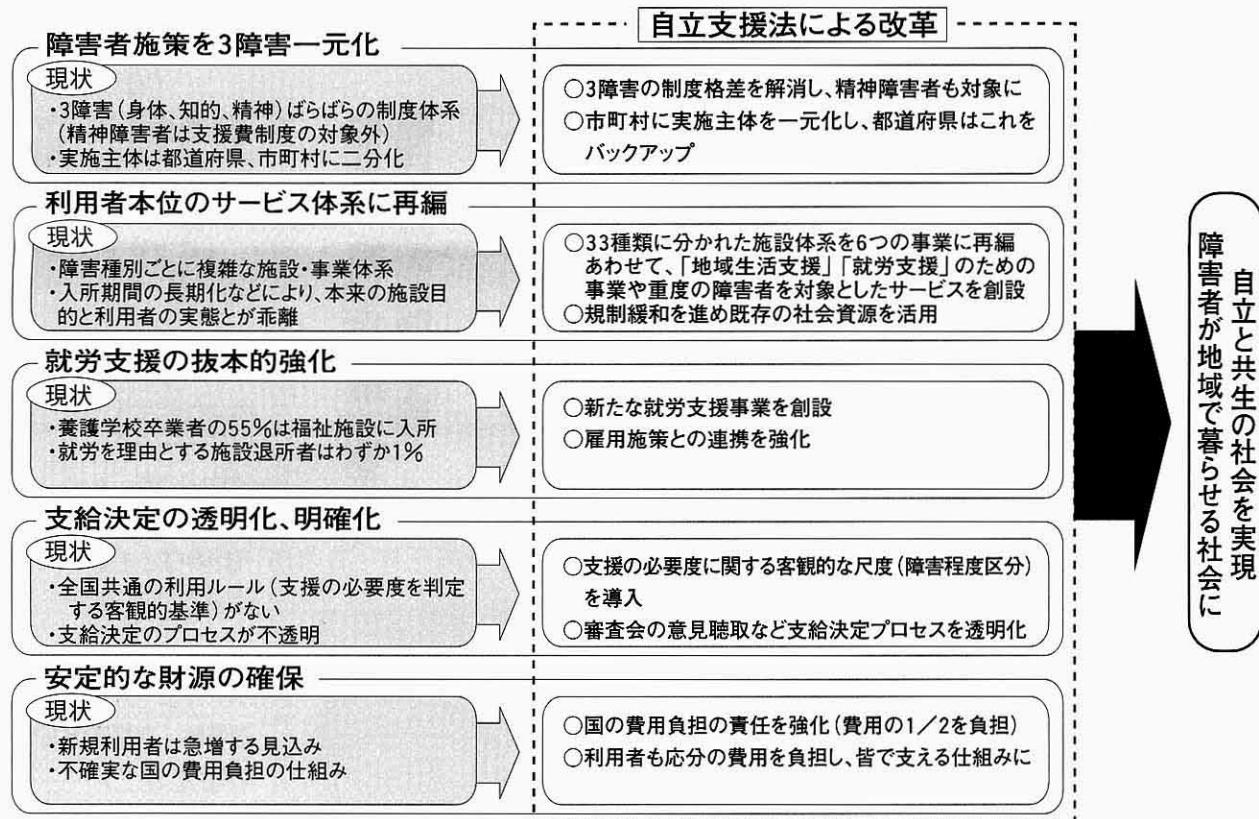
ぎ荘の屋根改修工事が、十月中旬から十一月三十日にかけて行われました。

# 特集 障害者自立支援法施行とは…

昨年11月7日に公布された障害者自立支援法が、平成18年4月1日および平成18年10月1日より施行されることになりました。この障害者自立支援法の中では利用負担が増える、施設体系が変わる等の大きな変化が見られます。ここでは当法人の関係施設、身体障害者授産施設わかふじ寮・第2わかふじ寮・身体障害者通所授産施設わかふじワークセンター・身体障害者療護施設屈足わかふじ園に關係する主なものについて触れておきたいと思います。

ご家族の皆様には後日、説明会等を予定しておりますので、ここでは概要についてのみ触れさせて頂きます。

## ■「障害者自立支援法」はこんな法律です



障害者が自立と共生の社会を実現する社会に

## ■平成18年4月より開始となるもの

・現在は収入に応じて、負担額が決まっていますが、今後、施設を利用すると食費・光熱水費を差し引いた額から、一律で1割の負担となります。【図1】負担の割合は現在の障害程度区分A・B・Cで算定されます。（負担上限は【図2】）その他、食費（48,000円）・光熱水費（10,000円）が別途自己負担になります。【図1】

・収入の認定の仕方は、生計を一にする世帯の総収入で判断されます。低所得の方に対しての減免制度もありますが、貯金の限度額（350万円以下の人）が設定される等、いくつかの条件があります。

## ■平成18年10月より開始となるもの

障害福祉サービスについて【図3】

・身体障害者・知的障害者・精神障害者の三障害が共通の制度で福祉サービスが提供されていきます。

・支援費制度での居宅サービス分野が新しい事業（ホームヘルプ、ショートステイ、）へ移行します。

・移動介護、障害者デイサービスは、地域生活支援事業（市町村事業）に移行します。

・今後、新たに施設を利用する方は、申請、認定調査・障害区分認定・支給決定・受給者証の交付という一連の手続きが必要となります。利用を希望される方は（障害程度区分、介護を行う者の状況、サービス利用に関する意向、地域生活の状況、就労状況、日中活動の状況、居住の状況、利用できる事業所・施設などの状況）等の調査を行い、その後審査会の意見を聞いて利用する事業所が決められています。

## 【図1】入所施設、通所施設に係る新たな負担(平成18年4月から)

| 入 所 施 設   | 通 所 施 設  |
|---|--|
| <p>○定率1割負担(所得に応じた上限あり)が新たに求められる。<br/>※ 下記参照</p> <p>○食費(48,000円)と光熱水費(10,000円)の合計(58,000円)が新たに自己負担となる。</p> | <p>※地域から通所施設に通っている場合<br/>○通所施設の利用に関して、定率1割負担(所得に応じた上限あり、社会福祉法人減免などの減免制度があります)<br/>○新たに食費が自己負担となります。(食費単価650円×通所日数)<br/>(例) 650円×22日 = 14,300円<br/>※3年間は経過措置として生活保護・低所得1・低所得2に該当する方は食費は食材費のみ230円の負担になります。<br/>(例) 230円×22日=5,060円</p> |

### <利用者個人負担>

【現行】わかふじ寮・第2わかふじ寮利用者の場合

定率1割負担 + 食費(48,000円)・光熱水費(10,000円)

【現行】わかふじワークセンター利用者の場合

定率1割負担 + 食費(650円×通所日数)

【現行】屈足わかふじ園利用者の場合

定率1割負担 + 食費(48,000円)・光熱水費(10,000円)

## 【図2】サービスに係る月額負担上限と範囲(定率1割負担)

|                   | 負 担 上 限 | 備 考  |
|-------------------|---------|--|
| 生活保護              | 0円      | 生活保護世帯に属する者  |
| 市町村民税世帯非課税Ⅰ(低所得1) | 15,000円 | 市町村民税非課税世帯であって世帯主及び世帯員のいずれも各所得がゼロであり、かつ、世帯主及び世帯員のいずれも収入が80万円(障害基礎年金2級相当)未満である世帯に属する者   |
| 市町村民税世帯非課税Ⅱ(低所得2) | 24,600円 | 世帯主及び世帯員の全員が市町村民税の均衡割非課税である世帯に属する者 税制上の障害者控除や障害年金が非課税所得であること等から、通常の市町村民税非課税世帯よりは実収入水準は高くなる。障害者を含む3人世帯で障害基礎年金1級を受給している場合、概ね300万円以下の収入に相当。 |
| その他               | 37,200円 | 一般世帯   |

## 【図3】施設・事業体系の見直し(平成18年10月から)

- 障害者の状態やニーズに応じた適切な支援が効率的に行われるよう、障害種別ごとに分立した33種類の既存施設・事業体系を6つの日中活動に再編。
  - ・「地域生活支援」、「就労支援」といった新たな課題に対応するため、新しい事業を制度化。
  - ・24時間を通じた施設での生活から、地域と交わる暮らしへ(日中活動の場と生活の場の分離。)

### <現 行>

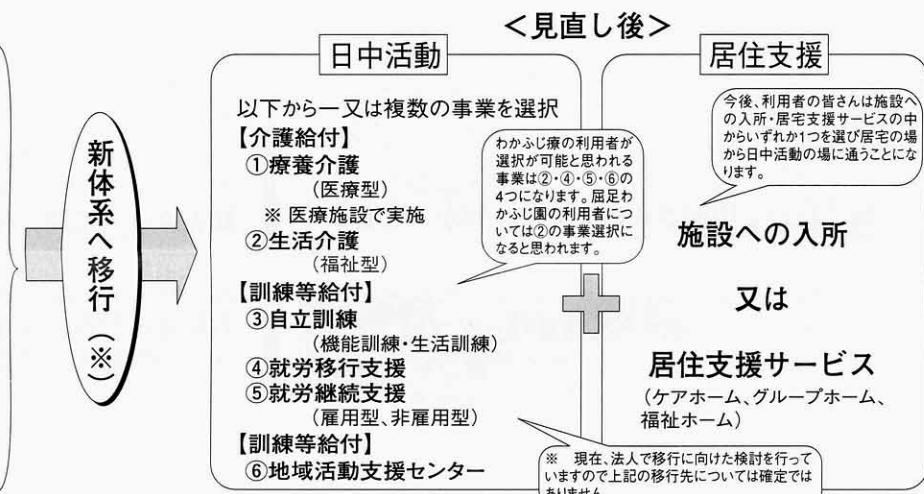
| 重 症 心 身 障 害 児 施 設<br>( 年 齢 超 過 児 ) |
|------------------------------------|
| 進行性筋萎縮症療養等給付事業                     |
| 身体障害者療護施設                          |
| 更生施設(身体・知的)                        |
| 授産施設(身体・知的・精神)                     |
| 小規模授産施設(身体・知的・精神)                  |
| 福祉工場(身体・知的・精神)                     |
| 精神障害者生活訓練施設                        |
| 精神障害者地域生活支援センター(デイサービス部分)          |
| 障害者デイサービス                          |

※概ね5年程度の経過措置期間内に移行。

※ 厚生協会でもわかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター・屈足わかふじ園は今後、5年間に新しい事業体系に移行していく予定です。

### 現在施設の利用者に関する経過措置

平成18年9月末時点で、わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター・屈足わかふじ園に入所されている方については、新しい事業に転換しても、経過措置として、引き続き利用が可能です。



# 自治会パークゴルフ大会

(わかふじ寮)

自治会主催のパークゴルフ大会が9月17日に行われました。競技は技量に合わせて男女別A, B, C, D, E各クラス別にサホロリバーサイドパークゴルフ場と運動公園パークゴルフ場に分かれて競技を行い、終了後には運動公園の焼肉ハウスでおいしい焼肉を食べ、お互いの健闘をたたえ合い楽しい時を過ごしました。

成績は次のとおりです。

| Aクラス男子    | Bクラス男子   | Cクラス男子   |
|-----------|----------|----------|
| 1位 佐治 信也  | 1位 鈴木 司  | 1位 山口 正博 |
| 2位 後藤 勝治  | 2位 井上 潔  | 2位 島津 義聰 |
| 3位 平田 常男  | 3位 田村 尚志 | 3位 谷口 美人 |
| 4位 山内 幸男  | 4位 亀田 邦雄 | 4位 塚本 富人 |
| 5位 横尾 義晴  | 5位 水野 和雄 | 5位 伊藤長四郎 |
| 6位 道端 均   | 6位 田中 道博 | 6位 野崎 道博 |
| Dクラス男子    | Bクラス女子   | Cクラス女子   |
| 1位 渡部 誠一  | 1位 小野 節子 | 1位 北守 幸子 |
| 2位 吉田 昭造  | 2位 笠井ヒロ子 | 2位 高屋ひとみ |
| 3位 石川 勝也  | 3位 塚本クニ子 | 3位 堀 友子  |
| Dクラス女子    | Eクラス     |          |
| 1位 田中 節子  | 1位 牧野 正明 |          |
| 2位 池畠 トシ  | 2位 佐藤 政一 |          |
| 3位 豊田しゅう子 | 3位 横山 一行 |          |

# 第4回北海道ろうあ者パークゴルフ交流大会

(わかふじ寮)

9月18~19日の日程で、弟子屈町900高原パークゴルフ場に於いて開催された大会に、わかふじ寮から23名が参加しました。秋晴れの中、全道各地より60余名の選手が参加し、パークゴルフ交流大会が行われました。小高い丘の上にあるパークゴルフ場は、起伏にとんだロングホールが多く、難コースばかりでしたが、久しぶりに会う仲間との会話も弾み、とても楽しく周ることができました。

## 競技成績

|    |    |    |
|----|----|----|
| 優勝 | 佐治 | 信也 |
| 3位 | 平田 | 常男 |
| 7位 | 山内 | 幸男 |
| 7位 | 川口 | 豊  |



# 秋まつり

(わかふじ寮)

新得神社の秋祭りが予定されていた9月8日は、おきからの台風の影響で、いつもの年と違い本祭りの8日はおみこしの巡航だけになりました。例年、賑わう出店は15日に延期されてしまい、夜店もなく当初、利用者はガッカリしていた様子でした。

15日はうって変わって秋晴れの一日、町内の出店と共に自治会のくじ引き、焼き鳥、パンの販売がそれぞれの出店しました。利用者も出店めぐりを楽しみ、ビールや焼き鳥、ラーメン等でおなかを満たしていました。

# 全国ろう重複施設 自治会交流会

(わかふじ寮)

9月12日~13日、全国ろう重複自治会交流会が全国から6施設、23名の参加で行われました。各施設の報告会では障害者自立支援法についての話題が大半を占め、多くの施設で、この法案についての学習会が開かれているとの事でした。特に利用負担が増えることについて関心が寄せられ、現在の負担額と法律施行後では金額に大きな違いがあることについての不満や、今後に対する不安などが出されました。

夜の懇親会では会場を温泉に移し、最近の近況報告などを語り合い、美味しいお酒と料理に舌づみをうちつつ楽しい時間を過ごしました。

2日目は周辺観光コースとパークゴルフ大会グループの2班に分かれて、交流がなされました。周辺観光コースでは、やや遠くまで足を伸ばしてしまった結果、予定時間をオーバーしてしまい、危なく昼食を食べる時間がとれない!といったハプニングもありましたが、ギリギリセーフ。新得名物の新得そばと十勝名物の豚丼の味を堪能して頂き、交流会終了となりました。



# 全国障害者スポーツ大会

(わかふじ寮)

11月2日～8日、岡山県において全国障害者スポーツ大会が行われ、わかふじ寮から北海道代表として斎藤拓美さんが陸上競技に参加しました。6月には強化合宿にも参加され、練習を重ねてきましたが、走幅跳6位、ハンドボール投6位と惜しくもメダル獲得にはなりませんでした。本人の話では若い選手が多く、若さにはかなわなかったとの事でした。

## 研修旅行

(わかふじ寮)

今年の行き先は、東北方面、伊勢・志摩方面、山陰方面の3カ所で、利用者の方に行きたい場所を選んでもらいました。掲示された写真の写りが良かったのか、大半の人が伊勢・志摩方面を選んでいました。

1班目は9月28日～30日の日程で、東北方面（青森・秋田・岩手）へ出掛けました。北海道と気温の差はないと言っていたのですが、終日天気が良かったせいか20℃を越え、日中は半袖でも過ごせる暖かさでした。

初日は、ねぶたの里・奥入瀬渓流・十和田湖（乙女の像）を見学しましたが、ねぶたの里で見た、生のねぶたの大きさや美しさに圧倒されるものがありました。

2日目は、盛岡手作り村で陶芸とおまんじゅう作りに分かれて体験をしました。みなさん真剣な顔で取り組みつつ、個々に楽しんでいる様子もうかがえました。また、昼食は名物のわんこそばを食べましたが、ほとんどの人が味わうというより雰囲気を楽しんでいました。

3日目は、中尊寺・毛越寺・巖美渓を見学しましたが、巖美渓では名物のかっこう団子屋さんがお休みで、残念なことに空飛ぶ団子を購入することはできませんでした。

2班目は10月5日～7日の日程で、伊勢志摩方面へ出掛けました。心配していたお天気も1日目に少しの雨だけで、次の日は暖かい日差しの中で楽しむことが出来ました。

初日は、伊勢神宮と伊勢おかげ横丁、到着が遅くなつた為に暗く、閉店しているところもあり十分に楽しめなかつたようです。夕食には大きな伊勢えびがお膳にあり、皆びっくりしていました。

2日目は英虞湾クルーズ、スペインの帆船型遊覧船に乗り湾内を一周、湾内各所に真珠貝の養殖いかだが見られました。次に、志摩スペイン村に行き昼食を食べてから色々なアトラクションを見たり、お土産を買うなど楽しんでいました。最後に鳥羽水族館に行きました。

3日目は安土桃山文化村を見学しました。到着が早い時間だったので、まだアトラクション施設が開場していなく、皆がっかりしていました。

## 文化祭

(わかふじ寮)

10月22日（土）地域交流ホームにて、家族の方18名の参加を頂き、文化祭が行われました。

利用者の方の出し物として、須田さんの「パズルゲーム」、水本さん・道端さんの「風船ゲーム」、鈴木司さん・柳瀬さんの「トランプゲーム」、斎藤拓美さんの「的当てゲーム」が行われ、職員の出し物として「24時間テレビ風マラソン」が行われました。利用者の方も職員も当日の成功を祈りつつ、何日も前から仕事が終わった後で準備や練習に励んでいました。その甲斐もあってか、観衆の笑顔が多く見られ、楽しんでもらえていたようでした。

また、たんぽぽ園の子供たちによるお遊戯や、新得手話コーラスの方達による手話の歌「花」「涙そうそう」「乾杯」が披露されました。日頃の練習の成果が十分發揮されており、見ている人の心をグッとつかんでいました。

全ての出し物が終了したあと食堂に場所を移し、後藤家族会会長の乾杯の声と共に昼食会が始まりました。おいしい料理を食べつつ周囲の方達と歓談し、みなさん楽しい時間を過ごしていました。



3班目は10月12日～14日の日程で、山陰方面（島根・鳥取）へ出掛けました。日中の気温が最高29℃まで上がり、陽の光りが肌に刺さるような感じがするほどの暑さでした。初日は、牡丹と高麗人参の里「由志園」へ行きました。そこで、高麗人参のお茶がみんなに出来試飲したのですが、体に良いとは分かっていても独特の味であるため、おいしく飲むものではないなあ～と感じました。2日目は、出雲大社・まがたまの里・水木しげる記念館を見学しました。出雲大社では、みなさん真剣に幸せ祈願をする姿が見受けられました。また、まがたまの里では、まがたま作りを体験しましたが、それぞれが個々に楽しく、また一生懸命取り組み、出来上がったまがたまに紐や飾り玉を付けネックレスにし、大変満足されていました。

3日目は、梨狩りを体験したのですが、みずみずしい反面甘さはひかえめでした。その後、鳥取砂丘を見学しましたが、その広さや砂の模様など自然の力に感激しました。

参加された家族のみなさん、利用者のみなさん、大変お疲れさまでした。

来年はどこへ行くのか分かりませんが、好きな場所を選んで参加し、楽しい旅行にしましょう。



# 1泊旅行

(やすらぎ荘)

利用者の皆さんが楽しみにされていた1泊旅行が10月17、18日の1泊2日で行われました。天候にも恵まれ、紅葉真盛りの三国峠の風景を楽しみ、層雲峡温泉ホテルに向かいました。ホテルに着いてから温泉で体を癒し、美味しい夕食を済ませて、いよいよダンスショーの始まりです。

初めて見る若々しく美しい外国人美女達の脚線美に見とれている方も多く、惜しみない拍手をされていました。

2日目は朝食を済ませると、ロビーに入館時と夕食時のスナップ写真があり、自分の写っているのを見つけて、嬉しそうに買わっていました。

旭川市内の「優佳良織工芸館」、「地酒蔵大雪乃蔵」を見学し、お酒の試飲では、色々味見をしているうち、ホロ酔い気分の方もいらっしゃいました。又昼食はジンギスカンをお腹一杯食べて大満足でした。各々楽しかった思い出を胸に皆さん元気に帰郷されました。



# 町民芸能芸術祭

(やすらぎ荘)

11月6日(日)に公民館ふれあいホールで町民芸能芸術祭が行われました。毎年、利用者の方達は楽しみにしており、この日の為に練習を重ねて来ました。

今年は女性の方は着物、男性の方は浴衣を着て、右手に扇子を持ち踊りました。初めは緊張した為か、踊りが合いませんでしたが、後半はみんなの心が一つになり、とてもきれいに踊っていました。踊り終えると利用者から笑顔がこぼれ、最後に全員で記念写真を撮りました。



# 全国高齢聴覚障害者福祉施設利用者交流会

(やすらぎ荘)

今年も恒例になった利用者交流会が、9月26日から28日に広島県の安芸グランドホテルで行われ、やすらぎ荘からは6人の利用者と新得手話の会千葉会長、職員2名の9名で参加しました。お天気にも恵まれ、交流会はガーデンパーティーを野外にて楽しみました。当番施設のあすらや荘の方々や、福岡県の田尻苑、京都府のいこいの村梅の木寮の方とも名刺交換や交流を深め楽しい一時でした。翌日、宮島口を遊覧船で観光し、原爆ドームを見学してきました。また来年に京都の交流会で再会する事を約束し、別れを惜しました。



# マジックショー見学

(やすらぎ荘)

9月29日(木)屈足総合会館にてマジックショーが行われる事が町の広報に載り、利用者から見に行きたいと言う声があり、希望者10名で見学に行きました。生で見るのは初めてだったので、「どんな手品が行われるのかな」とドキドキした気持ちで入場し座って待っていました。そしてショーやが始まると、きちんと正装したプロのマジシャンと美女にビックリし、更に巧みな技に一同驚きました。

又簡単なトランプ、リングの手品には、利用者も一緒に参加出来とても楽しいひとときでした。帰りには、マジック用トランプのお土産も全員頂き笑顔でバスに乗り施設に帰郷しました。

# ボウリング

(やすらぎ荘)

利用者の方から、「ボウリングを行いたい」との希望があり、10月14日に22名の利用者と一緒に、帯広市のボウリング場へ行きました。今回は1ゲーム全部を1人で投げるグループ、1ゲームを3~4人で、交替で投げるグループと、体力に合わせて楽しんできました。1人ずつ投げる方の中には、2回連続でストライクを出す強者もいました。どの方もガーターを出したり、スペアを出したり、ストライクを出しては驚いたりと、それぞれに楽しいひとときを過ごされていました。機会があれば、又行きたいと思っています。

# 合同大運動会

(わかふじ寮・やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

9月3日（土）わかふじ寮・やすらぎ荘・新得やすらぎ荘・たんぽぽ園の合同大運動会が行われました。例年、いこいの広場にて行われていましたが、今年は芝生の状態が悪かったため、新得小学校の体育館で行いました。

わかふじ寮3施設では、横に並んだ椅子に座り物品を隣の人に手渡していく「ゴールへの掛け橋」という、障害の重い利用者の方にも参加して頂ける新競技を取り入れました。

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘は、「サイコロリレー」などの競技を行っていますが、利用者の方と職員が一体となって楽しく競技に参加されていました。

たんぽぽ園の「ころがせヨイショ！」では、0歳～3歳児までの子供たちが父母の方と一緒に、小さな体で力一杯ボールを押す姿はとてもかわいらしく見えました。

また、わかふじ寮・やすらぎ荘共にたんぽぽ園の子供たちと一緒に行う競技がありましたが、普段あまりかかわることのないかわいい子供たちとの触れ合いにより、楽しいひとときを過ごすことができました。

どの競技も、みなさん勝利を目指して一生懸命取り組む様子がうかがえました。

昼食は、毎年恒例の豚汁とおにぎりでしたが、「おいしい」と言って豚汁をおかわりする人がたくさんいました。

今年の結果ですが、白組のがんばりが目立ち、圧倒的な強さで優勝を勝ちとっていました。



## 秋の味覚祭

(新得やすらぎ荘・やすらぎ荘)

9月22日に旬の味を楽しんで頂く味覚祭を行いました。いつもより少し早めの夕食となりましたが、紅葉やコスモスを飾り、養護の利用者と一緒に作った銀杏の絵の箸置きを準備し、食堂のテーブルに秋の味覚を飾ったテーブルクロスを敷き、食堂の雰囲気作りをしました。いか焼き、焼きそば、焼き鳥、ししゃもなどを職員が外で焼き、養護の利用者に午前中に作って頂いた、いも団子、かぼちゃ団子も外で焼きました。今年はデザートにアイスクリームが加わり、ちょっとお洒落にブルーベリーソースをかけてみました。外から焼き上がって來るのが待ちきれない程皆さんたくさん食べられ、今年はいも団子、かぼちゃ団子が一番人気だった様で秋の味覚をたっぷり堪能した夕食でした。



## 施設内ゲーム大会

(やすらぎ荘)

年3回行なっているゲーム大会が10月27日行われました。今回は、利用者の方々が2チームに分かれ3回戦で勝負しました。1回戦目はチームごとに1列に並び、ボールなどを隣の方へ回して行き早くゴールしたチームが勝ちというので、皆さん「早く！早く！」ととても真剣でした。2回戦目はチームの代表者（職員）が、出されたお題の絵を描き利用者の方が分かり次第答えていくというので、代表者の絵が上手？なのか色々な回答が飛び交いました。一番盛り上がったのは3回戦目！4人の職員が早飲み、早食いをして誰が勝つか予想するものです。今回の一番人気は施設長で両チームとも譲りませんでした。

結局施設長は負けてしまいましたが大盛り上がり、来年の新年会（ゲーム大会）が楽しみです。



# 新入所者紹介

(やすらぎ荘)



【小林 享さん】

大正6年1月23日生れ  
釧路市から9月2日  
に入所されました。小柄ですが陽気な方で、タバコとお酒が大好きで、週3回のお酒の時間では、他の利用者とお話をしながら楽しく飲んでいます。



【吉田 英三さん】

昭和8年4月9日生れ  
釧路市から11月12日  
に入所されました。入所前は、建具店に勤めており、自分で作った整理箱などもありました。早く施設の生活に慣れて楽しんほほしいと思っています。

## ヒーロー・ヒロイン

(新得やすらぎ荘)

今回ご紹介するのは、小関祐次さんです。8月4日に入所されましたが、新得やすらぎ荘には知り合いの方が多く、すぐ特養の生活に慣れたようです。小関さんはとても明るく温厚で他の利用者の方々とお話されたり、毎日の体操にも一生懸命参加され元気に生活されています。又、行事にも積極的に参加され、最近ではリハビリも始めました。これからも色々な事に挑戦して、たくさんお友達を作つて楽しく過ごして頂きたいと思います。



# 美容室 コットンファミリー来荘

(新得やすらぎ荘・やすらぎ荘・デイサービス)

10月11日、コットンファミリーの従業員30名が来荘されました。この散髪ボランティアは、清水代表の祖母が入所されていることが縁で、13年前から毎年来ていただいています。今年は入所している方からデイサービスを利用されている方、合わせて90名の方々をカットして頂きました。入所されている利用者は美容室へ行く機会が少ない為、この日を待ちにしている方が大勢いらっしゃいます。コットンファミリーの方々は利用者の希望を聞きながら手際よく丁寧にカットされ、髪をすっきり短くされた利用者の方々は「やっぱり上手だね」と大変満足され喜ばれていました。



## 紅葉ドライブ

(デイサービスやすらぎ荘)

例年になく暖かい日が続き、秋の訪れが遅れてやってきた感じもありましたが、当センターでは、10月17日～22日の1週間屈足レイク・イン、屈足湖公園ヘドライブに出かけました。天気に恵まれた日、曇り空の日もありましたが、ともに紅葉は美しく、特に湖面に映し出された紅葉は、自然が織り成す独特的幻想的な風景で、ただただ目を惹かれるばかりでした。新得、屈足に長年住んでいる方でも、「こんなに綺麗なところがあったんだね。」と言われるほどでした。秋色が彩るなかでの1時間ほどの外出ではありましたが、楽しんでいただけたのではないかと感じました。



# 一泊旅行

(屈足わかふじ園)

9月6日(火)～7日(水)、浦河町にある「アエル」への一泊旅行に参加を希望された3名の利用者と共にに行ってきました。浦河町といえば馬がすぐ頭に浮かぶほど競走馬の育成が基幹産業になっていますが、この「アエル」は馬と戯れたり、各種工芸を楽しめる観光スポットで宿泊もできます。利用者の皆様も出発前から楽しみにしておりました。到着まで約3時間の道のりでしたが、到着すると、綺麗な馬体をした馬に出迎えられ疲れも癒されていたようです。

ホテルにチェックインした後は、早速サラブレットを見に行き、記念撮影をし、その後、陶芸の体験をしました。陶芸は初めての方ばかりでしたが、講師の方に指導してもらいながら各自コーヒーカップや皿などを作り楽しんでおりました。その他にも園内には自然を満喫できる所が多く、散歩をしながらゆったりとした一時を過ごすことができました。

一泊二日の旅行でしたが、参加された利用者の皆様からは「良い旅行だった」という声が多く聞かれ、十分に楽しんでいただけたようです。



# 東京ディズニーシー旅行

(屈足わかふじ園)

車イスで生活されている利用者にとって、旅行は楽しみにしている行事の一つです。最近では車イスでも利用が可能な施設が多く見られるようになりました。旅行の幅も広がってきたのは皆さんもご存じだと思います。東京ディズニーシーもその一つ。

施設では一度に大人数で移動する事はできないため、希望者の中から体調等を考慮し、今年度は利用者4名が10月3日～5日の3日間、東京ディズニーシーの旅行へ行きました。

ほぼ半日かけての移動となりましたが、飛行機に乗ったことのない利用者もあり、待合室では緊張した面持ちでいましたが、ディズニーリゾートに面したシェラトンホテルに着いてからは笑顔も戻っていました。バイキング形式の夕食ではハロウィンの季節だったので、デザートの取り皿にチョコレートで「HAPPY HALLOWEEN」の文字を装飾してもらう等の演出も加わり、楽しい夕食時間になったと思います。部屋に戻ってからはホテル独自に放送している紹介ビデオを見ながら見学する場所などを話し合いながら過ごしました。

翌日は、あいにく小雨がちらつく日でしたが、デ

# 新得音頭披露

(屈足わかふじ園)

9月11日(日) 屈足秋祭り期間中、町内の有志の方が来園され新得音頭を初めとした踊りを利用者に披露していただきました。食堂を会場として行い、綺麗な揃いの浴衣姿の方々が到着すると、拍手で出迎えておりました。踊り手の皆さんは、利用者の目の前で新得音頭をはじめとして3曲披露して下さり、利用者の方々は、きれいに揃った踊りと衣装の優雅さに見とれながら、曲に合わせて踊ったり歌ったりして楽しんでおりました。

終了後は、「また来て下さいね」と声をかける利用者が何人もおり、踊り手の皆さんと握手をして見送る方もおりました。皆、楽しい時間を過ごし満足されていたと思います。ご来園下さった踊り手の皆さんに感謝いたします。



イズニーシーには開門前から並び、入場後はショー等を中心に楽しみながら園内を周りました。中でも人魚姫の「アリエル」のショーには感動し、アリエルとの写真撮影では皆笑顔で撮影し、握手までしてきたほどです。

その他、お土産の購入では、自分の物から友人や家族、今回来られなかった親しい利用者へと、車イスの回りに大きな袋が一杯になるほど購入していました。夜になると疲れも始めていましたが、館内の雰囲気も変わり、ロマンチックなムードに酔いしれたのか「疲れた」という言葉さえ忘れた様でした。壮大な氷上ショーを見た後、閉園時に打ち上げられる華やかな花火を見たことは、忘れない思い出とな



ったことでしょう。翌日は、全員無事に帰園し、体調を大きく崩すことなく楽しい旅行を終えることができました。



# 秋の味覚祭

(屈足わかふじ園)

10月18日（火）施設内で秋の味覚祭を行いました。当日は、この秋に収穫されたものを使い、イモ団子・カボチャ団子・鮭のチャンチャン焼き・枝豆・豚汁を用意し皆で新鮮な秋の食材を味わいました。

団子は、前日に利用者と職員一緒に練って丸めた物を焼いて、鮭のチャンチャン焼きは利用者の目の前で鉄板の上で豪快に焼き上げました。焼き上がるまでの間、利用者の方々は、立ち上る煙とただよう良い香りに「早く食べたい」と心待ちにしながら、その様子を見学されていました。

そして、焼き上がった物を食べ始めると「自分たちで作った団子は一味違う」とか「とれたて秋鮭はおいしい」「今年も、このように旬の物を食べられて幸せ」といった声が多く聞かれ、食欲の秋という言葉通り、お腹一杯食べておりました。



# 屈足南小学校訪問

(屈足わかふじ園)

10月31日（月）屈足南小学校の1、2年生との交流会が行われました。

来園した児童の方々は、学習発表会で発表した「秋の歌メドレー」と「チャチャチャチャマンボ」の2曲を器楽演奏で披露して下さいました。「秋の歌メドレー」では懐かしい歌を静かに聴いていた利用者も「チャチャチャチャマンボ」では鈴やカスタネット等で児童の方々と一緒にリズムをとり演奏に参加させていただきました。利用者の皆さんには、一生懸命に演奏する姿に感謝し、「楽しかった」という声が多く聞かれました。児童の皆様、本当にありがとうございました。



# 音楽療法

(屈足わかふじ園)

11月8日（火）家族会主催による音楽療法を行いました。昨年に引き続き2回目となりましたが、帯広で音楽療法を広く行っている山内欣子先生にお越し頂き、ピアノ伴奏に合わせた振り付けや、曲に合わせて手話も交えながら歌詞を手で表現すること等を習いました。

参加された利用者の多くは、はじめ振り付けを覚えるのに苦労しておりましたが、徐々に覚えた歌を大声で歌ったり、大きく手を動かしていました。時間としては1時間程度でしたが、音楽に合わせて楽しく体を動かし、あっという間に時間が過ぎてしまったようで、終了後、利用者からは「おもしろかった」「またやりたい」と笑顔で話されておりました。



# 屈足手打ちそばの会訪問

(わかふじ寮・屈足わかふじ園)

11月13日（日）、12月10日（土）屈足手打ちそばの会の方が屈足わかふじ園、わかふじ寮に訪問され、手打ちそばの実演を行っていただきました。そば粉に水を足しながら手で混ぜ、練っていくうちに徐々に一つにまとまっていく過程は、一見地味な作業に見えますが、手の感覚だけで仕上げていく様に、熟練した技術が必要であることを感じました。また、生地を一定の厚さにのばす作業や、均一の太さに切る作業については、「すごいなあ。」という言葉が自然に口から出ると共に、終始じっと見入っていました。

特に初めて見る方は「このように作るんだね」と感心されておりました。又、質問をする方もおり関心度は高い様子でした。

わかふじ寮では途中から、利用者の中で希望する方々に、そばを切る作業を体験して頂きましたが、みなさんがそれぞれに、真剣に、また楽しみながら取り組んでいました。

打ったそばは、昼食時に会の皆様と一緒に食べましたが、新そば独特の香りと絶妙な歯ごたえに、利用者からは「やっぱり違うね」「おいしい」という声が多く聞かれ、会の皆様にお礼を言わせていました。わかふじ寮では、一杯では足りないとおかわりをする方が多くいました。また、そば切りを体験した方達については、自分で切ったそばを食べて頂きましたが、自分で切ったものは格別においしいとの話も聞かれました。

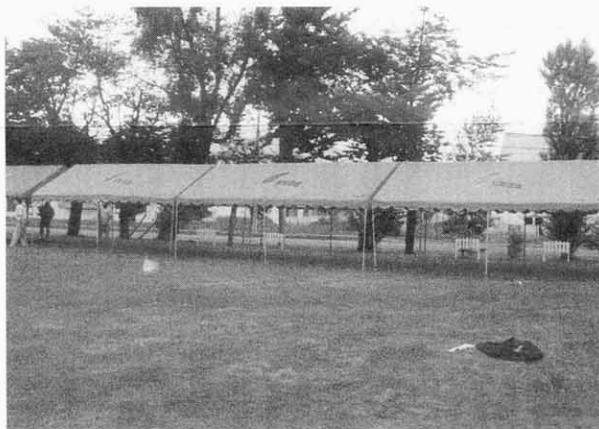
このような機会を提供下さった会の皆様、本当にありがとうございました。ぜひ、また来年も手打ちそばを食べて頂きたく思います。



# 共同募金より、行事用テント配分

北海道共同募金会より、このほど赤い羽根共同募金事業のテント3張が配分されました。

厚生協会への配分は、昭和61年に3張、平成7年に1張の配分以来となり、今回で3回目となります。テントは、施設の行事だけでなく、地域住民への貸し出しなど幅広く利用しています。



## 今後の行事予定

### 【2月】

- ・節分（わかふじ寮・やすらぎ荘・屈足わかふじ園）
- ・お楽しみ会（やすらぎ荘）
- ・避難訓練（やすらぎ荘）
- ・バレンタインデー（屈足わかふじ園）

### 【3月】

- ・町内外食（やすらぎ荘）
- ・外注食（やすらぎ荘）
- ・ホワイトデー（屈足わかふじ園）
- ・耳の日ゲーム大会（わかふじ寮・やすらぎ荘）
- ・物故者法要（わかふじ寮・やすらぎ荘）
- ・屈足わかふじ園）



# 社会福祉法人 厚生協会 たんぽぽ園 園児募集 18年度

募集年齢 0歳児（2ヶ月から）

1歳児

2歳児

3歳児

※保育料 月40,000円（兄弟がいる場合2人目は半額になります）

1日2,700円・1時間500円

上記すべて昼食、おやつ込みです。詳しくはお問い合わせください。  
途中入園も可能です。（今年度・18年度とも）

社会福祉法人 厚生協会

たんぽぽ園

TEL. 0156-64-3495

携帯. 09066970570

## 法人役員改選

12月10日に行われた評議員会で、平成17年12月24日からの2年間の理事、監事の選任が行われました。その後14日の理事会で理事長、常務理事の選任が行われ下記の様に新たな役員が選出されました。全員再任となります、2年間宜しくお願ひいたします。

（任期 平成17年12月24日～平成19年12月23日）

| 役職   | 氏名    |
|------|-------|
| 理事長  | 佐々木忠利 |
| 常務理事 | 田中 雅之 |
| 理事   | 斎藤 三男 |
| 理事   | 後藤 幸雄 |
| 理事   | 藤原 正志 |
| 理事   | 中村 岩夫 |
| 理事   | 平 秀子  |
| 監事   | 高橋 正  |
| 監事   | 中村 幸一 |

# 御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成17年10月1日～11月30日（敬称略）

## 【わかふじ寮】

新得町 岩倉 建設  
札幌市 境 幸子  
新得町 橋本 昭造  
新得町 太田喜代一  
小樽市 金子 治郎  
新得町 松坂 勝雄

## 【やすらぎ荘】

美瑛町 堀川 静香  
音更町 五十嵐博子  
新得町 千葉 玄昭  
新得町 渡辺 健司

## 【新得やすらぎ荘】

新得町 望木 芳子  
〃 関 孝和  
〃 松田 千里

新得町 八嶋 満明  
〃 千葉  
〃 志賀 ミエ  
〃 花房きみ江  
〃 増田 夏江  
〃 阿部ハナヨ  
〃 横倉 喜市  
〃 安楽 正晴  
〃 高橋 秀雄  
〃 新得女性消防団  
〃 深川  
〃 大内  
歌登町 佐古 良三  
音更町 岡田美和子  
芽室町 オークル  
女満別町 谷本 一夫

清水町 西出 誠  
釧路市 中鉢 秀樹

## 【ディサービス】

新得町 野沢 禮義

## 【屈足わかふじ園】

新得町 小林扶美子  
新得町 小川コユキ  
新得町 五十嵐 静  
上士幌町 太田新次郎  
新得町 屈足保育園  
音更町 宮路 禮子  
美唄市 鴨原 ヤイ  
足寄町 高橋 敏

## 局番変更について

12月1日より局番が変更となり下記の通りとなりました。

| 事業所名                         | 電話番号         | FAX番号        |
|------------------------------|--------------|--------------|
| 身体障害者授産施設<br>わかふじ寮           | 0156-64-5448 | 0156-64-5522 |
| 身体障害者授産施設<br>第2わかふじ寮         | 0156-64-5001 | 0156-64-5522 |
| 身体障害者通所授産施設<br>わかふじワークセンター   | 0156-65-5001 | 0156-64-5522 |
| うるし工房                        | 0156-64-4106 | —            |
| パン工房わかふじ                     | 0156-65-5133 | 0156-64-5280 |
| 聴覚障害者養護老人ホーム<br>やすらぎ荘        | 0156-64-6938 | 0156-64-3157 |
| 居宅介護支援事業所・訪問介護事業所<br>新得やすらぎ荘 | 0156-59-5100 | 0156-64-7050 |
| 特別養護老人ホーム<br>新得やすらぎ荘         | 0156-64-5196 | 0156-64-6094 |
| 身体障害者療護施設<br>屈足わかふじ園         | 0156-65-2001 | 0156-65-2003 |

## 編/集/後/記

原稿集めの始まった10月、障害者自立支援法が国会を通過しました。障害者福祉の後退が叫ばれる今日、施設にとっても利用者の立場からも、大きな負担増しが予想されます。

もう一つ、聴覚障害者の運転免許更新で聞こえない事から更新を受理させてもらえず、免許の失効された人が出ています。この広報の発行される新しい年こそ、施設を利用している方々、またすべての障害者の痛みが少しでも分かる政策をと願っています。

## 家具修理承ります！！

捨てようと思っている  
家具はございませんか？

ヨーロッパでは親から子供へと受け継がれて行くほど大切にされています。長年使っていくうちに塗装がはがれたり、キズがついたりしますがそれを修理して次の世代に渡します。

アンティーク家具と呼ばれるもののほとんどが、こうして大切に使われてきたものだと思います。

日本でも、桐タンスは洗い直しが出来ますので長年に渡ってご使用できます。「修理して使う」と言う事は「物を大切に扱う」という事であり、環境にも（資源の有効活用）優しい事です。私たちは、修理できる家具は修理させていただきます。どのような事でもかまいませんのでお気軽にご相談下さい。ただし、修理できない場合もございますのでその時はご了承下さい。

尚、オーダー家具も承っております。

お客様のご要望・お部屋のサイズ・ご予算等にあわせて、お作り致します。

お見積は無料です

お問い合わせ わかふじ寮 0156-64-5001

注文家具担当 片桐・高橋・高松